

「映えを狙った!?新しい学内コンビニもっけ」

C1240144 荒生佳帆

① 共感

まず初めに私は、実際にもっけを利用し現状を探りました。実際にもっけを利用してみると、ノートやファイルなどの勉強に利用できる雑貨を取り扱っていたり、日によって商品の割引をおこなっていたりと、学生にとって嬉しい部分がありました。しかしその一方で、学外に設置されているコンビニと比べて、商品の値段が全体的に高く、また陳列されている商品の数も少ないよう感じました。さらに支払い時に電子決済は利用できず、すべて現金のみの支払いとなっていました。またコンビニ自体に明かりが少なく、雰囲気が暗く感じました。

利用している学生は、時間帯での偏りはなく、学年の偏りもありませんでした。このことから、近くのコンビニを利用したほうが便利であり学外のコンビニを利用する学生が多いのが現状だと思いました。

② 課題定義

私は学内のコンビニより学外のコンビニを利用する学生の方が多いという点に着目しました。現在の学内コンビニには他のコンビニと比べ、客の呼び込みへと繋がる宣伝できるものがないのではないかと思いました。このことから潜在的ニーズとして、「学内コンビニもっけを他のコンビニにはない、特別な空間にしたい」というニーズがあるのではないかと考えました。

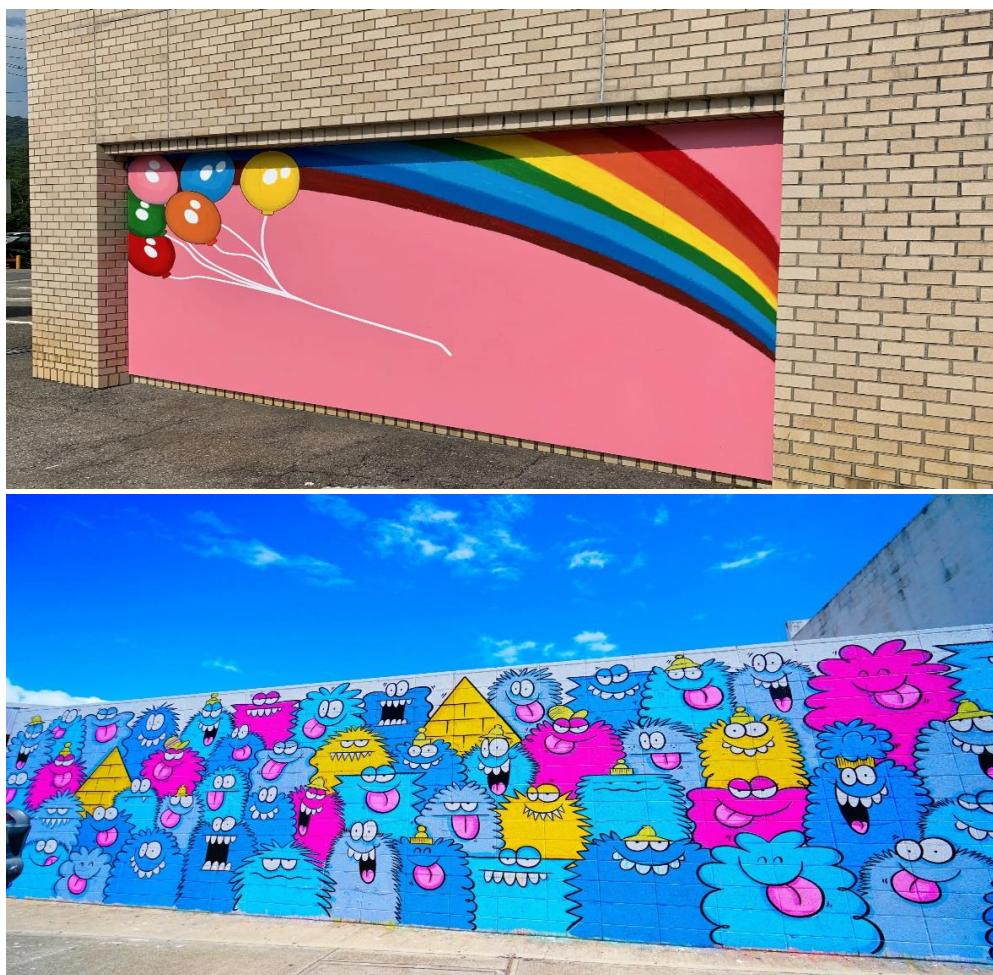
さらにこの潜在的ニーズを踏まえ「どうしたら、多くの学生が利用する本学ならではの学内コンビニをつくれるのか?」という課題を設定しました。

③ コンセプトとプロダクト

コンセプトとして「流行を取り入れた、おしゃれな学内コンビニ」を提案します。このコンセプトを提案した理由は、最近はインスタグラムなどのSNSを通して、コンビニグルメをアレンジしインスタ映えを狙った投稿が話題となっており、本学の学内コンビニでインスタ映えする写真を撮ることができたら、学生の学内コンビニ利用につながるのではないかと思ったからです。



プロダクトは、学内コンビニに様々な系統のウォールアートを設置し、フォトスポットをつくります。また、インスタ映えするスイーツ系の商品を増やしたり、本学独自のグッズを販売することで学内コンビニもっけならではの魅力を生み出します。



④ 期待される効果

多くの学生がこの壁を使って撮影をし、SNS に投稿することで学校の宣伝につながるのではないかと考えました。また、ウォールアートを設置することで、もっけ全体の雰囲気も明るくなると思いました。